

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200165
事業所名	グループホーム たのしい家鶴里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、地域の実情や情報を把握するとともに、地域にも事業所の情報を発信している。盆踊りや運動会など地域の行事にも参加するとともに、事業所の建物の一部を地域に開放し双方向的に交流している。散歩や買い物などを通して地域と関わりを大切にしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は2ヶ月に1回開催され地域、家族、公民会長、行政関係者などが参加している。会議では運営報告やサービスの状況、課題など報告するとともに、意見や要望などを話し合っている。要望事項は検討し、運営に反映させている。議事録は家族にも配布している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 困難事例を受け入れたり、運営上の問題がある場合は相談、指導を受けるなどして、関係性を深めている。市が行う研修会には積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは、日々のケアを通して希望や要望を聞いている。家族からは来訪時や運営推進会議、意見箱、電話などで意向や要望を把握している。また、年1回満足度調査を行い、その結果も開示している。意向や要望はカンファレンス等で検討し、結果を閲覧して運営に反映させている。検討内容や結果はホーム便りでお知らせをしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○		